

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 20日

滋賀県知事 殿



提出者

住 所 京都市右京区太秦巽町1番地

氏 名 三菱自動車工業株式会社
京都製作所 所長 神徳 浩久

電話番号 075-864-8057

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

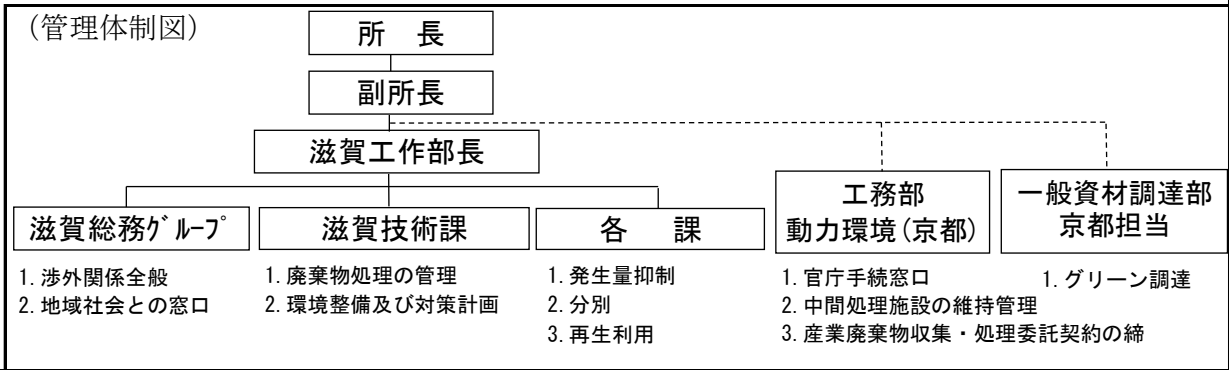
事業場の名称	三菱自動車工業株式会社 京都製作所 滋賀工場
事業場の所在地	滋賀県湖南市小砂町2番地の1
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	輸送用機械器具製造業 31
②事業の規模	資本金 284,382 百万円
③従業員数	358人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>製造工程</p> <p>加工 → 洗浄 → 組立 → 試運転</p> <p>発生廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none">・汚泥・廃油・木屑・金属屑・陶磁器屑 <p>・廃油</p> <p>・廃油</p> <p>・廃油</p> <p>・廃油</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	排出量		別紙集計用シートのとおり			
	(これまでに実施した取組) ・リサイクル処理業者への処分依頼					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	排出量		別紙集計用シートのとおり			
	(今後実施する予定の取組) ・リサイクル処理業者への処分推進					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発生廃棄物を再分別し再利用・再資源化の促進
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・切削水等廃液の浮上油有価化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり	t
	(これまでに実施した取組) ・再溶解可能物の選別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・溶解炉稼動により所内溶解可能品の増加		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組) ・中間処理は実施していない		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・中間処理は実施していない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施していない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量		別紙集計用シートのとおり				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量					
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量		別紙集計用シートのとおり			
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の【集計用シート】

- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	2021		2022		① 自己最終処分又は海洋投入処分した量①		② 自ら中間処理した量②		③ ②のうち熱回収を行った量③		④ 自ら中間処理した後の残量④		⑤ 自ら中間処理により測量した量⑤		⑥ 自ら中間処理した後再生利用した量⑥		⑦ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量⑦		⑧ 産業廃棄物処理委託先による最終処分委託量⑧		⑨ ⑧のうち、処理業者への再生利用委託量⑨(⑧-⑩を除く)		⑩ ⑧のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への売却処理委託量⑩		⑪ ⑧のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑧-⑩を除く)		⑫ ⑧のうち、直接委託して埋立最終処分した量⑫		⑬ ⑧のうち、優良認定処理業者への委託処理量⑬		⑭ ⑫と⑬の量を合計したもの(自動計算)		⑮ ⑬と⑭の量を合計したもの(自動計算)			
	① 排出量①		② 自ら直接再生利用した量②		③ 自己最終処分又は海洋投入処分した量③		④ 自ら中間処理した量④		⑤ ④のうち熱回収を行った量⑤		⑥ 自ら中間処理した後の残量⑥		⑦ 自ら中間処理により測量した量⑦		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量⑧		⑨ ⑧のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量⑨		⑩ 産業廃棄物処理委託先による最終処分委託量⑩		⑪ ⑩のうち、処理業者への再生利用委託量⑪(⑩-⑫を除く)		⑫ ⑩のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への売却処理委託量⑫		⑬ ⑩のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑩-⑫を除く)		⑭ ⑩のうち、直接委託して埋立最終処分した量⑭		⑮ ⑭と⑮の量を合計したもの(自動計算)		⑯ ⑮と⑯の量を合計したもの(自動計算)					
	法で定められている種類(シュレッダークラスなど、一体不可分のものについては、空欄行に記載してください。)		当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量		④の量のうち熱回収を行った量		自ら中間処理を行った後の量		④の量から⑤の量を差し引いた量		⑥の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量		⑦の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑧の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑧-⑨を除く)		⑨の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への売却処理委託量		⑩の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑩-⑫を除く)		⑬の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量		⑭の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)		⑯の量と⑰の量を合計したもの(自動計算)			
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標		
燃え殻																																				
汚泥	5	6																																		
廃油	913	1,050																																		
廃酸																																				
廃アルカリ																																				
廃プラスチック類	28	32																																		
ゴムくず																																				
金属くず	553	630	481	553																																
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.83	0.95																																		
紙くず																																				
木くず	0.3	0.36																																		
繊維くず																																				
動植物性残渣																																				
動物系固形不要物																																				
石綿含有産業廃棄物																																				
廃石膏ボード																																				
混合廃棄物(安定型)																																				
混合廃棄物(管理型)																																				
合計	1,500	1,725	481	553	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。